

教育委員会事務の点検および評価の実施について

1. 概要

教育委員会は、効果的な教育行政の推進と、市民への説明責任を果たすため、毎年、教育委員会事務の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表します。

（根拠：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条）

2. 令和4年度（対象：令和3年度事業）の実施方法

昨年度と同様に草津市教育振興基本計画（第3期）に9つある基本項目ごとに評価・点検を行いました。評価シートについては、より簡潔で見やすい形を目指し、見直しを行いました。

3. 令和4年度報告書の概要

①評価指標について

草津市教育振興基本計画（第3期）において9つの基本項目ごとに設定されている成果指標（全18項目）および事務局で行った事業評価（内部評価）をもとに評価いただきました。事業評価（内部評価）については、9つの基本項目に紐づく34の施策内容ごとに、3段階で行いました。

（◎：期待を超える成果であった、○：期待どおりの成果であった

△：期待未達の成果であった）

②成果指標の目標達成度について

9つの基本項目ごとに設定されている成果指標（全18項目）のうち、目標値を達成できたのは5項目で全体の27.7%となり、前年度と同じでした。達成度別の分布は下記のとおりです。

○目標達成度の状況

目標達成度	項目数（R2）	項目数（R3）	割合（R3）
100%以上	5	5	27.7%
75%以上 100%未満	11	11	61.1%
50%以上 75%未満	0	1	5.6%
50%未満	1	0	0%
その他（代替指標のため目標なし）	1	1	5.6%
計	18	18	100%

【目標達成度が50%以上75%未満の項目】

・基本項目9 文化財の保存と活用

成果指標 史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館の年間入館者数

達成度 53.8% 【目標】34,500人 【実績値】18,544人

原因 新型コロナウイルス感染症の影響により休館したことや、全国各地に緊急事態宣言が長期間発出されたことにより、入館者数が伸びなかった。

③事業評価（内部評価）について

9つの基本項目に紐づく34の施策内容の全てを、「期待どおりの成果があった」と評価しています。

○事業評価（内部評価）の状況

	項目数 (R2)	項目数 (R3)	割合 (R3)
「◎」期待を超える成果であった	0	0	0%
「○」期待どおりの成果であった	31	34	100%
「△」期待未満の成果であった	3	0	0%
計	34	34	100%

※基本項目9「文化財の保存と活用」における事業の評価については、成果指標としている「史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館の年間入館者数」が目標値を達成しなかった要因を、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいと分析しており、コロナ禍において感染拡大防止策を講じながらイベント等を実施するほか、SNS等を活用した情報発信を積極的に行った結果、前年度より入館者数が増加していることもあり、「期待どおりの成果があった」としました。

4. 草津市教育委員会事務外部評価委員会

点検・評価の客観性を確保するため外部評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する方等に意見や助言をいただきました。（8月24日、26日開催）

令和4年度 教育委員会事務外部評価委員（敬称略）

- ・渡邊 暁彦 （滋賀大学教授）
- ・塚本 和代 （元笠縫東小学校長）
- ・吉田 満知子 （公募委員）

主な意見・評価

総 評

- ・教育委員会や各学校からの情報発信が弱いと感じた。せっかく良い事業を行っているのに、それが伝えられていないことは残念である。既存の方法とは別の方法でも情報発信に努めてい

ただきたい。報告書の記載事業は、多くの学校教員や教育委員会関係職員が日々誠実に取り組んできたことで評価できるものであるため、情報発信や広報の方法を考え、「見える化」していくことで、市民や保護者に伝えていただきたい。

- 教育行政と学校現場・市民とのやり取りの中で、一方通行にならないように心がけていただきたい。教育行政が学校現場・市民に一方的に発信するのではなく、逆に学校現場・市民が教育行政に一方的に要望するのではなく、何が必要なのか、何を求めているのか、お互いに耳を傾けあう関係性を築いていただきたい。

基本項目1 豊かな心と健やかな体の育成

- 保育士の確保・離職防止のためにも、処遇改善以外の心身のサポートについても取り組んでいただきたい。
- 子育て支援や就学前教育の充実について、重要性を関係部署が相互に理解し、事業担当の部署だけで完結するのではなく、横の連携を大切にいただきたい。

基本項目2 確かな学力の育成

- 草津市の教育はICTを先進的に進めてきた。今後も情報発信を積極的に行い、滋賀県や全国の教育を引っ張っていただきたい。
- 基礎学力の向上のためには、教師の指導力向上に密接な関わりがあるため、ワーク・ライフ・バランスを考慮しながらも、教科の専門性を高めていただきたい。

基本項目3 教職員の指導力の向上

- 教育委員会として学校現場の業務効率化に取り組まれているが、逆に学校現場の負担が生じることが起きないように、引き続き取組を進めていただきたい。
- 学校現場の教師が保護者対応や事務等で多大な時間を取られ、心身の疲れも溜まっていると思われるので、業務の見直しを行っていただきたい。

基本項目4 学校経営の充実

- 配慮を要する子どもへの支援における不登校に対する支援は、支援したからすぐに解決するものではないので、長い目で見ていただき、1人でも多くの子どもが、フリースクール等の学校以外も含めて、居場所を見つけられるようになっていただきたい。
- 各学校のホームページに地域活動や連携内容を盛り込むなど、地域へ学校の取組や情報を広く知っていただくように進めていただきたい。

基本項目5 教育環境の充実

- 学校施設の不良が原因となる事故もなく、きちんと整備ができていると評価できる。児童生徒が安全安心で学べることを第一に、整備を続けていただきたい。
- 草津市のICTの先進的な取組によって蓄積されたデータは貴重な財産であるので、デジタル機器のより有効な利用方法等を検討いただきたい。また、紙の書籍なども大事な学習教材であ

るため、活用を進めていただきたい。

基本項目6 家庭・地域での学びの充実

- ・青少年の健全育成は、関係機関と引き続き連携し、20歳を過ぎた世代への支援も行っていただきたい。
- ・地域協働合校の取組は長く続いており、子どもの豊かな心の成長や大人のやりがいに繋がっている。今後も地域の特性を生かした取組を期待している。

基本項目7 生涯学習・スポーツの充実

- ・国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会は、市民全体がスポーツに関心を持つ機会となるので、引き続き取組を進めていただきたい。
- ・地域のスポーツ活動について、学校のクラブ活動の地域移行が話題となっているので、そのことも念頭において事業を進めていただくとともに、競技人口の多寡にかかわらず、数多くのスポーツに触れる機会をクラブ活動でも確保していただきたい。

基本項目8 文化・芸術の振興

- ・幼少期に良い文化・芸術体験ができれば、次の担い手になる可能性もある。草津の豊かな文化を継承していきたいと思ってもらえるよう、事業を進めていただきたい。
- ・若い世代を取り込んでいくためにも、新しい発想や発表形態、SNS等の活用が必要だと思う。

基本項目9 文化財の保存と活用

- ・歴史文化財は限られた人の興味を満たすことだけになってしまうことも多い。素晴らしい取組を行っているので、情報発信にも力を入れていただきたい。
- ・コロナが収束すれば本陣や街道交流館の入館者が元の水準に戻るかもしれないが、引き続きインターネットでの配信等にも力を入れていただきたい。

5. 今後のスケジュール

9月30日（金）	部長会報告 定例教育委員会付議
10月上旬	議会報告
中旬	公表（ホームページ、記者提供等）